

第7次本別町総合計画策定審議会（第6回）会議録

令和2年7月16日 18:30~20:00

役場3階会議室

✓	✓		✓	✓		✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓			✓			✓	✓	✓	✓
杉臣会長	北谷職務代理者	松元委員	橋本委員	細田委員	畝地委員	朝日委員	井出直美委員	門田委員	新津初男部会長	平田委員	佐藤委員	井出壬午委員	本間委員	山下委員	国本委員	新津直子部会長	斎委員	菅原委員	寺林委員	小林委員	式見委員	今村委員
総務部会									産業建設部会						文教厚生部会							

1. 杉臣会長あいさつ

皆さんこんばんは。前回に引き続き本別町の未来を支えていく大事な計画を立てていくということで、ご協力をお願いします。それではさっそく始めて参りたいと思います。

2. 経過報告

杉臣会長 まず、は次第の2番目、経過報告を事務局よりお願いします。

事務局 6月23日に第5回総合計画策定審議会を開催しています。議案の2ページに審議いただいた主な内容を赤字で表記しています。⑪から⑮まで新たに委員よりいただいた将来像も記載しています。また、議案5ページにもキーワードを赤字表記で追加しています。以上、経過報告です。

杉臣会長 経過報告について補足される事項等はないでしょうか。

それでは次第の3、協議事項に移りたいと思います。(1) あたらしい総合計画将来像の提示について事務局よりお願いいたします。

3. 協議事項

(1) あたらしい総合計画将来像の提示について

事務局 まず、今日の会議の進め方について説明させていただきます。議案の6ページをご覧ください。右側の赤囲みに本日、お話いただきたいことを記載しております。総合計画基本構想の将来像ということで第5回審議会でもいただいた意見を事務局でまとめましたので、ご提案をさせていただきたいと思います。次に基本計画について、これも第5回審議会でも5つに分類して、必要な場合は追加してはどうかというご意見でありましたので、事務局で5つに分けた案をお示しします。本日についてはご提示ということで、ご意見がある方はおうかがいしたいと思いますが、次回、7月27日に審議会を予定していますので、その中で基本構想の将来像について、ご意見をいただき決定をしていきたいと考えています。また、基本計画については次回に協議を行ない、第8回で決定していきたいと思っております。議題の4番目に予定しています、SDGsについて研修をさせていただきます。審議会では何度か資料を配布させていただいておりますが、なぜ総合計画に取り入れるのかについては、世界的な基準で本別はどの辺りに位置するのか、また、何が足りないのかの視点に立って、日本、北海道、十勝ではなど比較ができるような仕組みになっています。比べながら、不足する部分、長けていることを伸ばして行くために取り入れていきたいと考えています。詳しくは、この後に溝渕さんから説明を受

けたいと思います。

それでは(1) あたらしい総合計画将来像の提示について、議案の3ページをご覧ください。4つ事務局で考えています。黒字の太文字が将来像案です。右側の青い字がそれに代わるワードで、語路が悪いとか、皆さんが考えていくときにこれらを参考にいただければと記載しています。この中には無い、足りないという場合は審議員さんのことばで変えていただき、次の審議会でご協議をいただきたいと思います。黒字で表記していますが、10年後の姿像です。これはキャッチフレーズから連想される主なものということで記載しています。例えば農業のことが連想される場合に農業のことが記載されていますが、どれに決まったとしてもこの4つの姿像はどれにも当てはまってくると思います。

1つめに、「心あわせて 明日のほんべつを造る」これは前回の「本別プライド」をわかりやすく表現し直したものです。2つめに「ほっこり あったか いきいき笑顔」3つめに少し長いのですが「キラリと輝く すてきな笑顔 きらめきタウンほんべつ」。「笑顔」というキーワードと「きらめきタウン」が町民のみなさんにとって馴染み深いということで。4つめに「いいね いいよ わくわく ほんべつ」。小学生にもわかりやすく、「わくわく」期待感、わくわくする気持を持ってとの意見からつくりました。

本日、ご意見のある方については、承りますが、内容については7月27日の審議会でご協議をして決めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

杉臣会長 これは前回事務局案が10個あったものに皆さんからご意見をいただいて、4つに絞ったということでしょうか。(はい)

そうしましたら、3ページの総合計画の将来像について何かご意見等ありましたら挙手をお願いいたします。

委員 次回にこのことについて話し合うということなのですが、事務局に考えを伝えるということなのでしょうか。それとも、この中から選ぶということなのでしょうか。

事務局 事務局として前回までのご意見をまとめているつもりですが、これでは足りないというご意見であれば、ことばを足していただいたり、まるで別のものを出していただいたり。それから意見を出していただいて、次回の中で皆さんに協議していただいて1つに絞っていききたいと思います。1つに絞った後で役場庁舎内の推進委員会という組織がありますので、若干の文言修正はあるかもしれませんが、大まかには審議会でご決定したものを基本とします。

杉臣会長 よろしいでしょうか。

今回、示されたものを検討したうえで、次回は話し合いをすることになると思うのですが、今、もしご意見がある方がいらっしゃれば、次回につなげていけると思いますので、何かご意見がある方はお願いいたします。

委員 事務局に案を持って行けば良いのか。

事務局 はい。当日でも結構ですし。

杉臣会長 それではこの場ではご意見が無いようでしたら次に進めたいと思うのですが、よろしいでしょうか。(はい) それでは次に事務局からよろしくお願いいたします。

(2) あたらしい総合計画基本目標の提示について

事務局 それでは次に基本目標について提示をさせていただきます。これも先程と同じような表示をしています。5つに分類しています。1つめに農林商工観光として産業の部分です。4つ案を考えてみました。『活力ある産業を創造するまち』『活力と賑わいのあるまちづくり』『元気な笑顔を生産するまち』『ほくほく笑顔をつくるまち』です。2つめに健康・医療・福祉としまして『健康で安心して暮らせるまち』『いきいき健康のまちづくり』『人にやさしいまちづくり』『健やか笑顔で過ごすまち』『やさしい笑顔で暮らすまち』の5つの案です。3つめの区分として衛生・

インフラ・防災・環境で『安全で快適に暮らせるまち』『あたりまえの生活を持続するまちづくり』『にこにこ笑顔で暮らすまち』『ゆったり笑顔で過ごすまち』。4つめに教育・スポーツとして『心と体に磨きをかけるまち』『豊かな心と文化を育むまち』『きらきら笑顔を育むまち』『にっこり笑顔が輝くまち』。5つめとしまして行財政改革、男女参画、若者活躍、交流で『未来につながるまちづくり』『町民力を生かしたまちづくり』『みんなの笑顔が輝くまち』と考えました。こちらにつきましても次回とその次の第8回の審議会の中で協議をして決めて行きたいと思えます。これまで多く出されていたのが「笑顔」というキーワードでしたので笑顔という表現のこぼれを下に並べてみました。これも参考にいただきながら、次回の審議会でご意見をいただければと考えています。以上です。

杉臣会長 今、お話がありました基本目標についても、次回に詳しく審議していくこととなりますが、今の時点でご意見等ある方はいらっしゃいますか。無いようであれば次に進めてもよろしいでしょうか。それでは事務局よりお願いします。

(3) その他

事務局 その他といたしまして、次回審議会を7月27日に予定させていただいております。本日、お示しさせていただきました将来像、基本目標に審議をいただきます。将来像については決定をいただきたいと思います。本日、添付しております基本計画、表に①社会教育活動の推進とありまして、右上に7月16日現在と記載のある冊子をご覧ください。下にSDGsのカラーのロゴが入っているものです。これは今現在、各課と事務局との間でやりとりをしている案になります。役場内で意見を集約中でありまして、まだまとめきれていない所もありますが、これについても次回、また次の8回目の中で気になる点や追加すべき事項等、委員の皆さんからご意見をいただくため、お目通しください。よろしく願いいたします。その他について以上です。

杉臣会長 今、事務局からお話のあった事柄について質問等、あるいはご意見が御有りの方はいらっしゃいますでしょうか。

委員 数値目標というか2年したらどうだ、5年目にはこうだという目標を示すべき。それは責任問題になるかもしれないけれど。他の町村では2年、3年後の例えば就労者人口目標を書いている。それらを示してあって、みんなでもた反省をして、こういう点が足りなかった等、他のまちはやっている。本別も私も前回の計画作成から関わっていて、3年、5年と区切って反省があるのかと思っていたら無いから時間が経過してしまって、結局そのまま。具体的な数値目標も無く。上士幌町ではやはり、3年後の目標や3年後にまた数値を見直すなどして一生懸命やっている。そのようなことから人口も増えている産業も出て来ている。ひとつの目標みたいなものが必要。ただ目標をつくって10年ではなくて、この計画をつくるために私たちも審議している。つくった我々が見直しをすることが一番先進的だと思う。この施策の中に数値を入れ込んでほしい。3年、5年など。ここにも書いてあるけれども1日167人を維持しますと書いてあるけれども、10年後のことなのか、2年後のことなのか。そういう意見です。

杉臣会長 施策案としてあげられている、内容で数値目標がありますけれども、ここを例えば何年後に見直すとか、何年ぐらいを目標にするのか等もう少し具体的に示すべきではないかというご意見でよろしいですか。

委員 あまり数字も入っていない。ある程度目標を立てるのだから、目標ということは何年後にどういうことをするのか。10年後なのか。10年後であればそれはほとんど忘れてる。ある程度の区切れのいいところを、移住者をこれだけ増やすとか。上手くできなければ仕方がないけれども、目標があればそれに向かって頑張ろうというふうになる。何の目標も無かったら、ダラーと行って終わってしまう。何年後に向けて頑張ろうとする必要がある。

杉臣会長 事務局よりお願いします。

事務局 役場内でも同じような意見がありまして、今の考えでは例えば基準が10のときに、5年後にこの10の上をめざします。というような書きかたをしています。悪い基準であれば下げますと。この総合計画は前期基本計画5年、後期5年となっていますので、今、お配りしている施策は5年後をめざして数値目標を定めます。先程の例でありました1日の外来患者167人を維持します。では5年後にも維持します。ただ、3年後の設定はどうなのかというご意見でありましたので、各課とも協議して行きたいと思います。しかし、満足度調査による評価、数値目標があり、高齢者等を限定してのアンケート調査では5年毎や3年毎ということがありますので、検証につきましては、数値目標についての評価はアンケート結果後でしか出来ないこととなります。ただ、重点的な取り組み等につきましては、毎年、事業が終了した後、決算後に総括をしています。

これまで審議員の皆さんには改定の時にしか、その内容を提示出来ていないということがありますので、定期的に住民の皆さんに提示できたら良いと思います。総括を行って次の計画において「このような事をめざす」となるよう検討していきたいと思います。数値目標については可能な限り数値化をしていきたいと考えています。

委員 商工業の振興では企業誘致ということばがいつも書いてあった。これが10年先の話であったならば、そんなに大きな企業では無くて良いので、企業誘致ということばを入れるべき。今は状況が厳しいから表示できないということかもしれないけれど、情報が来た時にはキャッチすることができないから、足寄でも企業が来てすばらしいというかうらやましいと思うし、総合計画に書いておくべき。これまでも農業振興、企業誘致ということばが入っていた。このことばを無くすことはどういうことか。

杉臣会長 今の意見について事務局よりお願いします。

事務局長 今、説明させていただいたものは原々案といいますか、各課部局とも協議をしながら作成しているところであります。今後、審議員さんに見ていただくわけですが、キーワードをしっかりと入れるべきだとか、今、おっしゃられたように、しっかりとそこを明示すべきなど、様々な分野で、ご意見をいただくことになろうかと思えます。したがって、今、ご意見にあったように「しっかりとそこは残すべき」などご意見をいただき順次、修正をしていきたいと考えています。しかし、これまでも審議いただいたとおり、コンパクトにということもあり、長文とならないよう、編集の考え方も交えて、審議員の皆さんの率直なご意見をいただき、事務局としてその制度を高めて行きたいと思えますので、引き続き、このようなご意見を賜りたいと思えます。

杉臣会長 確認ですが、この施策に何かを加えたいという事はどの時点で意見等を述べれば良いことになっていますか。

事務局 次回とその次の回と考えています。

杉臣会長 他にご意見等ありますでしょうか。

委員 これは6次計画よりさらに良くしていく内容にしていくと捉えて良いですか。以前に評価しましたよね。さらに良くして行こうという話で終わったと思うのですけれども。アンケートもいただいていますよね。まだ、施策はざっとしか見ていないけれども子育てのアンケートの中に「もうちょっとなんとかしてほしい」というようなことが色々あったと思うのですけれども、今、ここで話すより次回でということになると思うのですけれども、そのような話し合いは今度ということになるのでしょうか。

事務局 そうですね次回にお願いします。第6次の計画で出来ていないものを第7次計画に引き継ぐことは基本なのですが、明らかにできないというものは修正をしていかなければならないと思えます。ですから必ず6次計画の上を行かねばならないということは無いと思えます。時代

も変わっていますし。このことばを用いるべき等の意見をいただき補強または修正して行きたいと思っておりますけれども、総花的、あまりにも美しい計画、現実離れしているものは、現実に添って行く必要があります、また、財政状況もかなり厳しいものになってきていますので、出来なくなることも出てくると思います。第6次計画にあったから第7次計画に全てがあるものとはならないと考えています。

委員 陸別に居た時にまち・ひと・しごとに関わった時に、1年毎の数値目標や到達目標をつくっていたように思います。本別もそういうものはあるのでしょうか。

事務局 本別町でもまち・ひと・しごとで5年間の数値目標を掲げて取り組んでいます。総括については1年毎に実施しています。

委員 そういうイメージがあったので、その点から数値目標を合わせていくと、まちがひとつになっていくのかと思います。総合計画とまち・ひと・しごととの関係がどうなっているのか、総合計画が上だと思えるのですけれども。もうひとつは今の数値目標をもって評価していく体制をとるといことは、具体的に施策に入れることは難しいものもあるのかと思います。ただし、先ほども意見があったようにフィードバックをしながら進めることは大事だと思います。このことは答申するときには会長名でそのフィードバックのシステムを、例えば審議会を縮小しながら継続するだとか、答申に記載して伝えていくことが必要ではないかと思います。

事務局長 ご意見ありがとうございます。地方創生の総合戦略ということで本別町でも掲げています。これは人口減対策に特化した計画でございまして、第7次の総合計画が令和3年度からのスタートで、今、ご審議いただいておりますけれども総合戦略につきましても第2期のスタートを令和3年度からに合わせて、別の組織をつくって準備を進めている状況です。ご意見にありましたとおり、総合計画を最上位計画と位置づけしております、地方版総合戦略と齟齬（そご）が無いように数字につきましても人口減対策、産業振興対策と段ずれが無いように作って参りたいと思っています。また、ご意見をいただきました委員さんが、これまでご苦労いただいていたいただいた計画の行く末を見ていく、フィードバックの方法につきましても、ホームページで公開する方法だとか、あるいは1年に1度こういった形で町民の皆さんを含めてお伝えできるのか、もう少し方法論を含めて事務局で検討させていただいて、審議員のみなさんにお諮りして、ご意見をいただき進めて行きたいと思っております。

杉臣会長 他にご意見等お持ちの方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは次に進めてもよろしいでしょうか。では次にSDGsについてよろしく願いいたします。

4. SDGsについて

環境省北海道環境パートナーシップオフィス 溝渕 清彦 氏
別添レジュメのとおり